

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

住民の皆さまには、日頃より町政に温かいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

年頭にあたり本町の現状を見ますと、T S M C進出を契機とした企業集積や宅地開発の拡大、転入者の増加など、急速な変化が進んでいます。新たな活力が生まれる一方で、暮らしの安心に関わる課題も複雑さを増し、町は新たな局面を迎えています。こうした「期待」と「課題」が交錯する中では、「生活の安心」と「未来に向けた基盤づくり」を両立させ、暮らしと町の将来を丁寧につないでいくことが重要だと考えています。

町を取り巻く環境が大きく変わる中で、町の未来を形づくる一つの柱となるのが、肥後大津駅を中心とした拠点整備です。昨年は「肥後大津駅周辺まちづくり基本計画」を策定し、JR九州との合同記者会見を行うとともに、北口バス転回広場の供用を開始し、町の玄関口としての機能を向上させました。本田技研工業やセミコンテクノパーク方面への通勤バス運行など、働く場と住まいをつなぐ動線も整い始め、駅周辺のにぎわいは着実に広がりを見せています。今後は、空港アクセス鉄道の「中

間駅」構想や周辺整備も見据え、拠点機能をさらに強化することともに、にぎわいと利便性を町全体へと広げていきます。

一方で、急速な変化に伴う交通渋滞は、生活の安心を守るうえで喫緊の課題です。町では、町道三吉原北出口線の多車線化をはじめ、国・県と連携した取り組みを進めています。短期・中期・長期の視点で、日々の移動が少しでも快適となるよう改善を図るとともに、中九州横断道路をはじめとした広域交通ネットワークの強化にも着実に取り組んでいきます。

子育て支援・教育環境の充実に向けては、昨年3月に「大津町子ども計画」を策定し、新たな町立認定こども園と子育て支援拠点施設の整備を進めています。大津中学校の改修が完了し、大津室小学校の大規模改修も進行中で、今年は2中学校の体育館へのエアコン設置にも着手する計画です。子どもたちが安心して学び、成長できる環境づくりを進めていきます。福祉の分野では、検診受診の促進や健康寿命の延伸につながる取り組みを進めています。第4期地域福祉計画のもと、転入者や外国籍住民が増える中でも、地域で支え合い、「誰もがいっしょに安心していきいきと暮らせる大津町」

の実現を目指していきます。

農業の分野では、T S M C進出に伴う農地不足や営農環境の変化が深刻化しています。農工商併進のまちづくりに向けて、県と協力し、新たな農業団地の整備や家畜し尿処理の改善を進めるとともに、スマート農業の導入支援や農地集約化にも継続して取り組んでいきます。

こうした大きな変化のただ中で迎える本年は、「合併70周年」そして「熊本地震から10年」という節目の重なる年です。これまでの歩みを改めて振り返り、先人に深く感謝を捧げながら、その歴史や教訓を未来へつなぎ、新たな力強い一歩を踏み出す一年としたいと考えています。

こうした状況の中、町では令和8年4月から計画期間となる複数のまちづくりの基本計画づくりを進めています。まちづくりの「羅針盤」となる「第7次振興総合計画」をはじめ、「都市計画マスタープラン」や「立地適正化計画」など、町全体の未来を方向づける計画を連動させ、暮らしの安心と将来の発展を結びつけていきます。

結びに、節目の年を新たな出発点とし、「今も未来もみんなが幸せであり続けられるまち」の実現に向けて、職員一同、一丸となっ

明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、新年のお喜びを申し上げます。また、平素より町議会の活動に対し温かいご理解とご支援を賜り、議員一同深く感謝申し上げます。

T S M Cの熊本進出後、大津町ではホテルやマンションなどの建設ラッシュに加え、企業の進出、人口増加が続いています。日本の多くの自治体が人口減少に苦慮する中で大津町や近隣市町村を含めた地域が、力強く光り輝いています。このような活況を肌で感じるのは、まさに高度経済成長期以来の体験と言えるのではないでしょう。大津町を含めたこの地域から発展を日本中に発信し、県や国へ熱意を伝えていきたいものです。

議会については、昨年2月に町議会議員選挙があり、議員構成も新しく変化いたしました。3月の初議会から新体制で町民の皆さまの付託に応えるために全員が頑張っているところです。平均年齢も前議会では62歳でしたが、現在は54歳と若くなりました。農業、商工業、労働問題、子育て、医療などに精通した議員が集まっています。私自身、25年間議員を務めています。議員の熱気やエネルギー

ギーは高まっていると強く感じます。

一般質問の場におきましても、モニター（映像を表示する電子画面）に映し出した資料を駆使しながら、具体的かつ説得力のある質問を行う議員が増えており、議論の質は非常に高い水準にあります。熊本地震後、役場庁舎が新しくなり、議会運営の手法を刷新してまいりました。大型モニターを活用した一般質問、電子採決システムの導入や議会中継の映像配信は、議会運営の透明性向上に寄与し、その先進的な取り組みを学ぼうと全国の地方議会から大津町へ研修や視察の依頼が増えています。

また、「大津町議会だより」は広報編集特別委員会で編集発行していますが、これまでも全国町村議会広報コンクールや熊本県町村議会広報コンクールで幾度となく表彰されており、全国的にも認知度は高く研修や視察も県内外から多く受け入れています。議会だよりのリニューアルにも着手し、昨年12月までWEBアンケートを実施しました。たくさんの方からご回答いただき、感謝申し上げます。より町民に親しみやすいものとなるよう、結果も踏まえ今後もより一層努力してまいります。

昨年の10月には、役場前で行わ

ありません。今後とも、我々議員一同へのご協力をよろしく願っています。

結びにあたり、町民の皆さまのご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

大津町議会議長 坂本 典光

町議会議員

岩下 啓史	中山 直之
清原 さおり	大塚 勝二
村山 龍一	大村 裕一郎
田代 元氣	時松 智弘
面川 秀貢	大塚 益雄
三宮 美香	山部 良二
山本 富二夫	豊瀬 和久
佐藤 真二	

て取り組んでいきます。住民の皆さまには変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が温かく幸せな一年となりますよう、心より祈念し、新年のごあいさつといたします。

大津町長 金田 英樹  
副町長 内田 清之  
教育長 吉良智恵美

大津町長  
かなだ 金田

ひでき 英樹

大津町議会議長  
さかもと 坂本  
のりみつ 典光

